

図書室より

「新着図書」

のお知らせ

『ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人』 東野圭吾

コロナの時代にヒーローが現れた！

名もなき町で多くの住民の期待を集めていた計画が進んでいたが、世界中を襲ったコロナウイルスの影響で白紙になってしまい、さらに殺人事件が発生する。犯人はもちろん犯行の流れも謎だらけであり、警察は被害者遺族にも関係者にも捜査過程を教えてはくれない。「俺は自分の手で、警察より先に真相を突き止めたいと思っている。警察にはできないが俺にはできるということもあるしな」颯爽とあらわれた「黒い魔術師」が人を喰ったような知恵と仕掛けを駆使して、犯人と警察に挑む！

『滅びの前のジャングル』 岡良ゆう

明日死ねたら楽なのにと夢見ていた。なのに最期の最期になって、もう少し生きてみてもよかったと思っている。「一ヶ月後、小惑星が地球に衝突する」突然宣言された「人類滅亡」。学校でいじめを受ける友樹、人を殺したヤクザの信士、恋人から逃げ出した静香、そして…荒廃していく世界の中で、「人生をうまく生きられなかった」四人は、最期の時までをどう過ごすのか。

『じんかん』 今村翔吾

第163回 直木賞候補作
第11回 山田風太郎賞受賞

仕えた主人を殺し、天下の将軍を暗殺し、東大寺の大仏殿を焼き尽くす一。民を想い、民を信じ、正義を貫こうとした青年武将は、なぜ稀代の悪人となったか？

時は天正五年。ある晩、天下統一に邁進する織田信長のもとへ急報が…信長に忠誠を尽くしていたはずの松永久秀が、二度目の謀叛を企てたという。前代未聞の事態を前に、主君の勘気に怯える伝聞役の小姓・狩野又九郎。だが、意外にも信長は笑みを浮かべた。やがて信長は、かつて久秀と語り明かした時に直接聞いたという壮絶な半生を語り出す。